Audiotrak MAYA

Professional 20bit Audio Card with Mic Pre-AMP

For Windows

Japanese Manual

本書の一部、もしくは全てを無断で複写、転載することを禁じます。
First Edition July 2000 by Ego Sys Inc. and Ego Sys Japan Inc.

＜はじめに＞

この度は、Ego Sys **Audiotrak MAYA** (MAYA)をご購入頂きまことにありがとうございます。　MAYAを正しくお使いいただくために、優れた機能を十分にご理解いただくためにも、この取扱説明書をお読みになり、その後も大切に保管して下さい。
今後サポートを受けられる為には、商品ご購入後1ヶ月以内にレジストレーション（商品登録）が必要となります。お早めに手続きをお願いいたします。　付属の保証書も大切に保管しておいてください。　詳しくはレジストレーションの章をご覧ください。

安全にお使いいただくために

- 改造、専用パーツ以外の使用は絶対にしないでください。故障や事故につながり、またサポートも受けられなくなります。
- コードの上に物を置かないでください。又キズ、断線、プラグの接触不良にお気づきの時は使用を中止し、ご購入した販売店か弊社へご連絡ください。
- 高温多湿、直射日光、暖房器具のそば、水、砂、ホコリのある場所での使用、保管は避けてください。特に水がかかったりすると感電や火災の原因となり大変危険です。
- 長時間ご使用にならない場合、落雷などの恐れがある場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。
- 安定の良い場所でご使用ください。特にお子様がいる家庭では、落下事故に注意し、手の届かない場所でご使用ください。
- 長時間ご使用になるときは適度に休憩を取り、目や耳を休めてください。

弊社へのご意見、ご希望などございましたらご購入になりました販売店、あるいは下記の連絡先までお問い合わせくだい。

EGO·SYS JAPAN

日本国内宛先
(株)Ego Sys Japan
東京都新宿区歌舞伎町2-19-7 新田中ビル 4-B
Tell:(03) 5287-6669　Fax:(03)5287-6678
http://www.egosys.net　(JAPANESE)
E-mail: maru@egosys.net

＜目次＞

はじめに 2

安全にお使いいただくために 2

第1章 ＭAYA について 4

ＭAYA の特徴 5

第2章 ＭAYA の取り付けをする前に 7

必要システム環境 7

推薦システム環境 7

静電気の予防 8

取り付け時前の注意事項 8

第3章 ＭAYA の取り付け 9

第4章 ドライバーインストール 10

第5章 外部機器との接続 15

基本的な接続 15

第6章 ＭAYA コントロールパネル 17

入力レベル 17

インプットセレクター 17

マイクプリアンプ 18

右クリック 18

第7章 ソフトウェアとの使用 18

CUBASE VST / Cubasis (ASIO 2.0) 18

ACID, SOUND FORGE (MME) 19

FRUITY LOOPS (Direct Sound) 20

第8章 レジストレーション＆テクニカルサポート 21

レジストレーション 21

テクニカルサポート 21

第9章 Audiotrak ＭAYA の主な仕様 22

Specifications 22

第１章　ＭＡＹＡについて

ＭＡＹＡは、プロフェッショナル仕様 20bit PCI デジタルオーディオカードです。　ハイクオリティーかつ安定した音楽環境をハイコストパフォーマンスで皆様へご提供すると共に、ファントム電源供給可能なマイクプリアンプ、ポータブル MD レコーダーへのミックスダウンを考慮した光オプチカル出力、将来的な拡張性などちょっとした気配りを加えました。付属の各種ドライバーにより多くのソフトウェアにも対応しています。
お楽しみください！

- **Windows 95 / 98 MME, Direct Sound, ASIO2.0**

この取扱説明書では、ＭＡＹＡの取り付けと、様々な場面における適切な使用法について説明しています。　もし、取り付けに関して何らかの問題が生じたなら、まずインターネット経由で弊社のホームページ(http://egosys.net)JapaneseのFAQの項目を参照してください。　それでも問題が残っているようであれば、その問題の詳細な説明を、E-mail (maru@egosys.net)までお送りください。

より安定した良いスペックの環境をご提供するためにもＭＡＹＡドライバーのアップデートや新しい情報を我々のホームページで確認してください。
将来的にもサポートが受けられるよう、あなたのＭＡＹＡの登録を忘れないようにしてください。

＜ＭＡＹＡの特徴＞

32-bit PCI Bus-Mastering Support

ＭＡＹＡ はハイスペックなオーディオカードのみに採用されている 32bit PCI バスマスタリングサポートを採用しています。　CPU に負担をかけない素晴らしい環境で音楽製作ができます。　これは、たくさんのプラグインエフェクトを使用する際や、同時録再の時に大きな違いが出ます。

20-Bit D/A converter and 18-bit A/D converter.

ＭＡＹＡ の A/D D/A コンバーターは、数値を上回るローノイズ、ハイクオリティーサウンドであなたの耳を満足させます。

2-In/2-Out Analog Audio Inputs and Outputs.

ＭＡＹＡ に搭載してある２イン/２アウト–10dBv アナログ RCA ジャックは、多くの外部音源モジュールにも使用され、それらと共通性を持たせました。　レベルの調節をしたり、アダプターを使用し変換したりする手間はありません。

S/PDIF Optical Digital Out

ポータブル MD レコーダーへのミックスダウンを考慮した光オプチカル出力を装備！このデジタルアウトはアナログのレコーディングや再生中にも使用可能です。

Provides Mic Pre-AMP

ＭＡＹＡ はマイクプリアンプも搭載しており、マイクの信号を直接入力できます。　またコンデンサーマイクを使用するためのファントムパワーも供給することができ、幅広い機器に対応できます。

CD-ROM Analog Audio Input Port

ＭＡＹＡ PCI カードの上部には、CD-ROM ドライブのアナログアウトから直接接続を可能とする 4 ピンアナログオーディオインプットポートが装備してあり、CD からの音楽をダイナミックサウンドで楽しむことができます。

2 Channel Recording and 2 Channel Playback-Full Duplex

ＭＡＹＡ は、２チャンネル録音２チャンネル再生が同時に行えます。

Multiple Sample Rate Support

ＭAYA は音楽製作で主となるサンプルレートに対応しており、マルチメディアから本格音楽プロダクションにおけるプロフェッショナルな現場でも力を発揮します。また 32kHz, 44.1kHz, 48kHz のサンプルレートを自動的に認識します。

Internal Mixer for Analog Monitoring

ＭAYA のコントロールパネル上でモニタリングするソースを選択できます。　ステレオアナログイン、CD オーディオ、マイク。　遅れ（レイテンシー）はありません。　また、ＭAYA のデジタルオプチカルアウトから外部デジタルレコーダーへ録音している際にもアナログモニタリングができます。

第２章　ＭＡＹＡの取り付けをする前に

ここでは、ＭＡＹＡの取り付け注意事項や、コンピューターのシステム環境について説明します。　まず始めに下に書かれている全てのものが箱の中に入っているかを確認してください。

出荷時の箱の中には次のものが含まれています。

1. Audiotrak ＭＡＹＡ PCI カード
2. インストールディスク Windows98/95
3. 取扱説明書
4. 保証書

御注意！

ＭＡＹＡ PCIカードはとても繊細な機器で、静電気、湿気、熱は決定的な故障の原因になります。　また、取り付けの準備が出来るまで静電気防止袋から絶対に出さないで下さい。

必要システム環境

ＭＡＹＡは、CPU に負担を極力かけないように設計されています。 ご使用になるソフトウェアが環境条件をみたし、以下の環境であれば問題なく動きます。

1. PCI 2.1 対応のマザーボード Pentium クロックスピード 166MHz 以上
2. Windows 95/98/98SE
3. 空きの PCI スロット１つ
4. 32MB RAM 以上
5. デジタルオーディオレコーディング/プレイバックソフトウェア

推薦システム環境

より快適な環境を得るには、高性能なスペックおよびシステムを構築すると良いでしょう。

1. Pentium II/III CPU クロックスピード 233MHz 以上
2. Windows 95 / 98 / 98SE
3. 空きの PCI スロット１つ
4. 64MB RAM 以上
5. デジタルオーディオレコーディング/ プレイバックソフトウェア

静電気の予防

ＭＡＹＡ PCIカードは、デリケートな電子部品を静電気から守るために、帯電防止の袋に納められています。この袋は大切に保存しておき、このカードを持ち運ぶときやコンピューターから取り外しておくときには、必ずこの袋に入れて下さい。　また、PCIカードを取り扱う際は常に、コンピューター電源部周辺のケースの様なグラウンドされた金属の表面に触れて、あなたの服や体から静電気を取り除いてからにしてください。

・ 電子部品には決して触らないで下さい！
・ PCIスロットピンには決して触らないで下さい！
・ 電子回路が配置されているカードの裏面には決して触らないで下さい！

取り付け時前の注意事項

取り付けはそんなに難しくありませんが、ＭＡＹＡやコンピューターにダメージを与えないように気をつけてください。　今後、ＭＡＹＡを着け外しする際も、この章を参照して下さい。また、取り付け作業を始める前に、ご使用になっているコンピューターの説明書の『ハードウェア機器を取り付け』などの項目を必ず読んでおいてください。

1. 電源ケーブルは付けたまま、コンピューターとコンピューターに接続されている周辺機器の電源を落とします。

2. コンピューターのカバーを取り外して、内部を確認してください。安全のため、コンピューターのマニュアルを参照して行ってください。

3. 静電気を取り除くため、PC の金属シャーシ部分に触れてください。

4. ＭＡＹＡ を扱う際には、その端と金属ブラケット以外には触れないでください。 静電気を取り除いた後でも、ボードの部品には触れないようにしてください。

第 3 章　ＭＡＹＡ の取り付け

1. メインボード上の空き PCI スロットを探してください。PCI スロットは ISA スロットと比べて短いという様に区別することができます。

2. 空き PCI スロットからブランクメタルブラケットを外してください。

3. ＭＡＹＡ を PCI スロットに差し込み、ブラケットをマウントねじでしっかりと留めてください。(ねじは付属しておりません。)　ボードをスロットに差し込む際には、無理な力を加えないように注意してください。

4. CD /DVD ROM DRIVEに４ピンアナログアウト端子がついている場合、ＭＡＹＡのCDアナログインへ直接入力することができます。
（DRIVEの機種により端子から信号を出してないものもあります。　御注意ください。）

(Point)
#4については、ＭＡＹＡドライバーのインストールをする前に
接続しておく必要があります。

5. カバーを戻します。

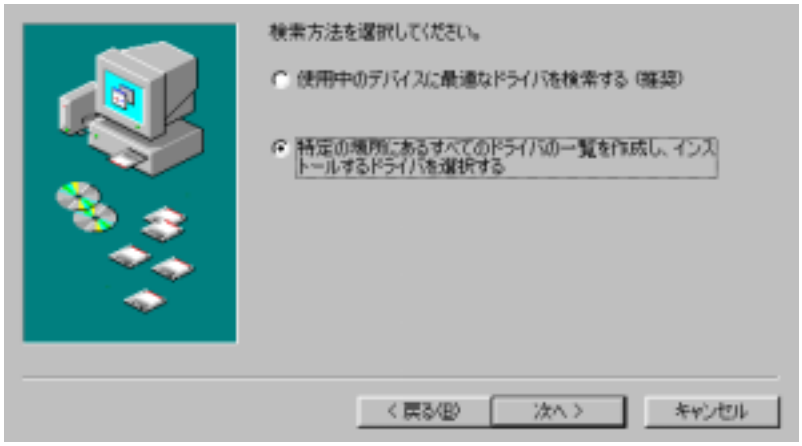
第４章　ドライバーインストール

ＭＡＹＡ の取り付けが終了しましたら、次はドライバーのインストールです。

1. はじめに ＭＡＹＡ を使用するために２種類のドライバーをインストールします。
   画像の手順によって進めていきます。

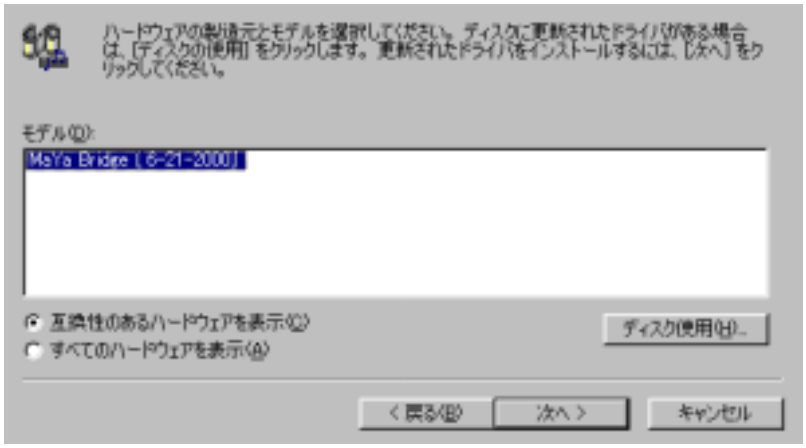
2. ハードウェアの取り付けが終了し、初めて PC の電源を起動すると、Windows のブートアップシステムが*"PCI Multimedia Device"* を認識します。

3. 付属の ＭＡＹＡ インストールディスクをフロッピードライブへ挿入します。以下のように選択し次へ進みます。

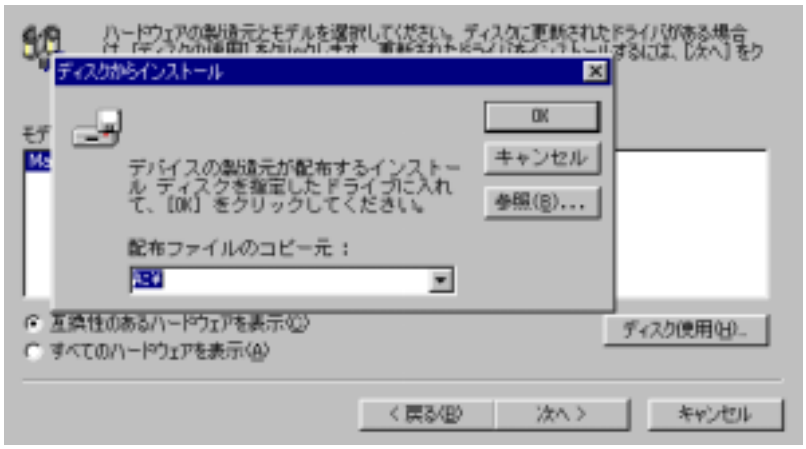


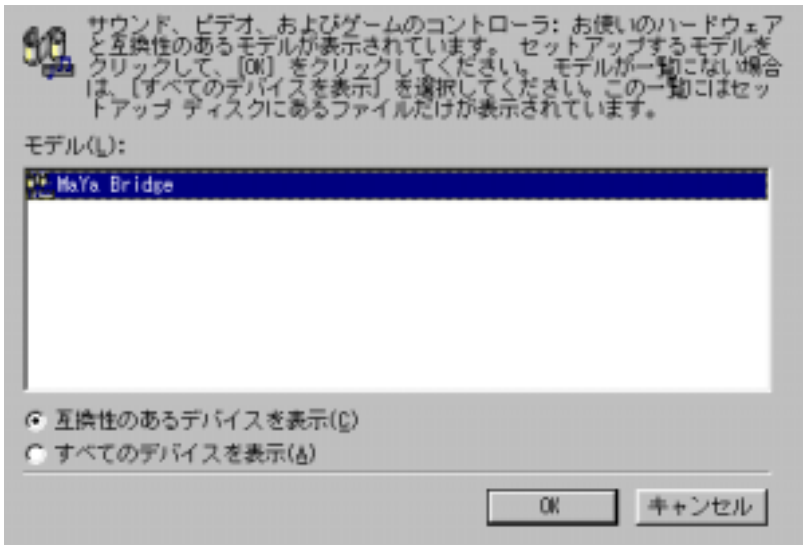
4. MaYa Bridge ドライバーインストールの準備ができました。　次へ進みます。

5. ディスク使用を選択し、次へ進みます。



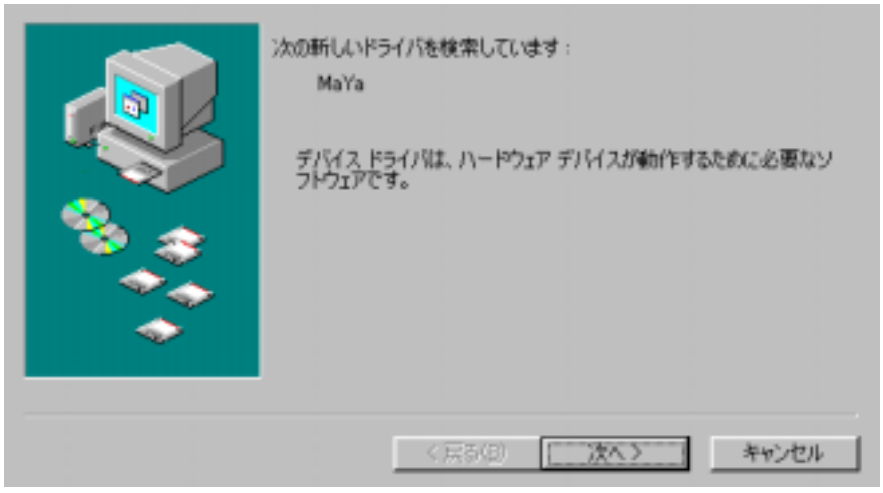
6. フロッピードライブを選択し、OK します。〔通常フロッピードライブは A:¥で表します〕





7. [Windows スタート/設定/コントロールパネル/システム/デバイスマネージャ]を開いて、"サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ" の下に"MaYa Bridge" が現れたことを確認してください。

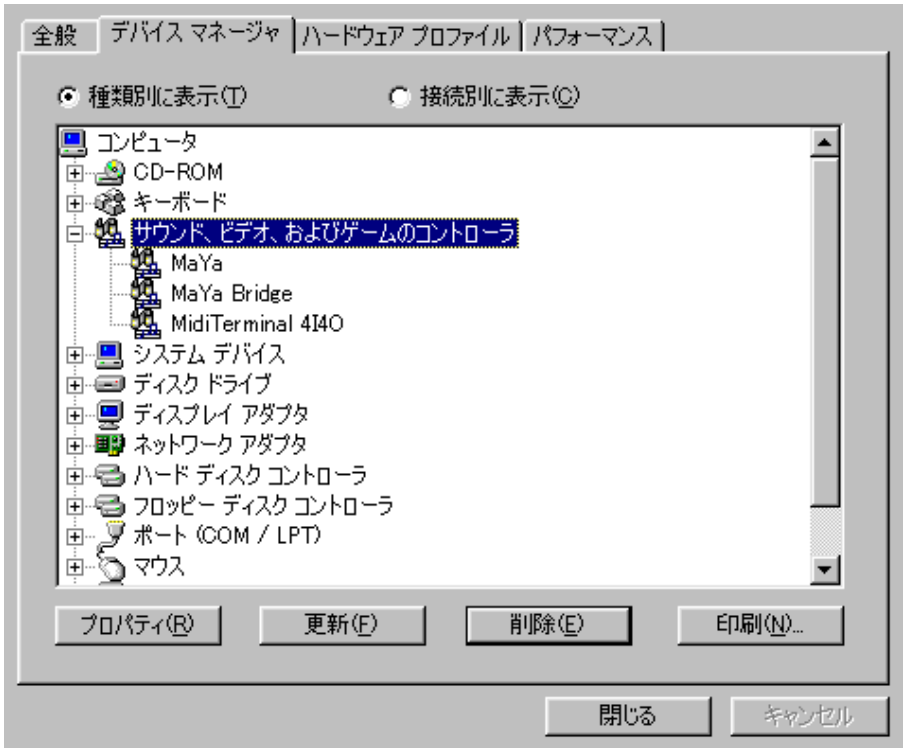
8. ２つ目のドライバーをインストールします。これも先程と同様、自動的に認識されるのでウィザードの手順にそって進んでいきます。



新しいドライバは、ハード ドライブのドライバ データベースと、次の選択した場所から検索されます。検索を開始するには、[次へ] をクリックしてください。
フロッピー ディスク ドライブ(F)
CD-ROM ドライブ(C)
Microsoft Windows Update(M)
検索場所の指定(L):
¥¥Maruyama¥c¥WINDOWS¥デスクトップ¥Maya
参照(R)...
< 戻る(B)
次へ >
キャンセル

次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します:
MaYa
このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。別のドライバを選択するには、[戻る] をクリックしてください。[次へ] をクリックすると続行します。
ドライバのある場所:
A¥MAYA¥MAYA.INF
< 戻る(B)
次へ >
キャンセル

MaYa
新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。
< 戻る(B)
完了
キャンセル



9. 適切にドライバーがインストールされると、画面右下のパネルに“ M ”が現れます。そこをクリックすると MAYA コントロールパネルが現れます。

10. また[Windows スタート/設定/コントロールパネル/マルチメディア/オーディオ]の順に開いていくと“*再生-優先するデバイス*”という欄があらわれ、そこで ”*MAYA*”を選びます。“*録音-優先するデバイス*”も ”*MAYA*”を選択します。

11. MAYA の準備が整いました。

この取扱説明書は、MAYA の機能と共にアップグレードしていきます。

http://www.egosys.net

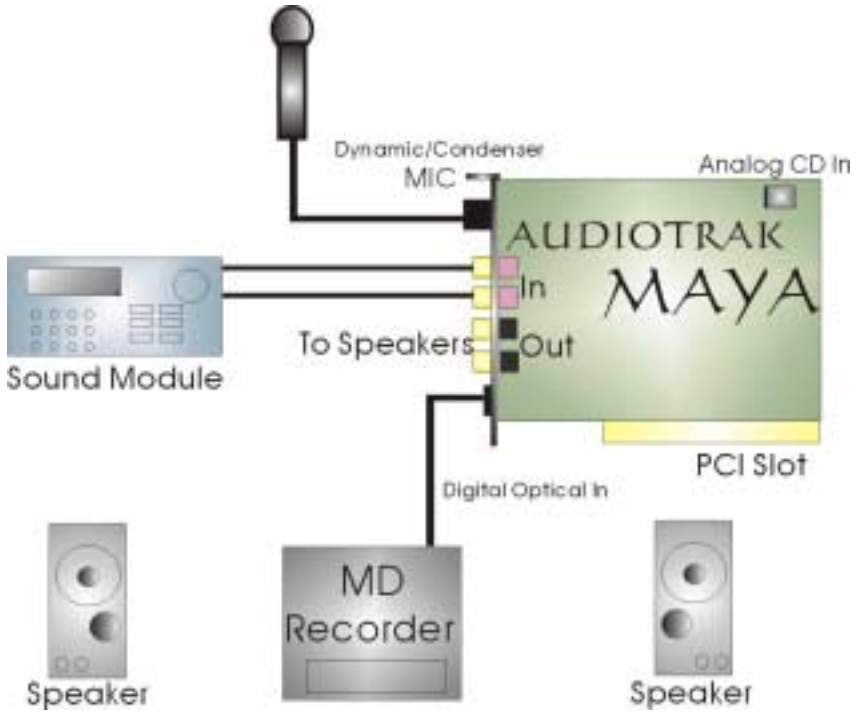
JAPANESE アップデートインフォメーションより最新版を確認してください。

第 5 章　外部機器との接続

ここでは ＭＡＹＡ の基本的な接続例や 4 ピンヘッダーコネクターについて説明します。

基本的な接続

下にある図は基本的な接続例です。



上の図のように外部音源が 1 つの場合、アナログステレオアウトを ＭＡＹＡ のアナログステレオインへ接続し、 ＭＡＹＡ のアナログステレオアウトをモニターする為のパワーアンプやパワードスピーカーへ接続します。

複数の外部音源とミキサーをお持ちの場合は、ミキサーのバスアウトかステレオマスターアウトから、ＭＡＹＡ のアナログステレオインへ接続し、ＭＡＹＡ のアナログステレオアウトをミキサーのトラックへ戻します。　モニタリングはミキサーのテープアウトかマスターアウトからおこなって下さい。

オプチカルデジタルアウトは、直接 MD や CD、DAT などのレコーダーへ接続し、ミックスダウンに使用します。　デジタル入力を持つミキサーにも使用できます。

- **Line In L/R**

MAYAのアナログインは、RCAタイプアンバランス仕様になっており、外部のミキサーや音源のアナログアウトを接続します。

- **MIC In**

ＭＡＹＡ には、1/4” TRS マイクインプットジャックを装備しており、ダイナミックマイクやコンデンサーマイクを直接接続できます。

- **Line Out L/R**

アナログインプット同様、RCAタイプアンバランス仕様になっています。

- **Digital Out**

デジタルアウトは、多くの機種に対応したオプチカルを採用しました。直接MDやCDレコーダーと接続しミックスダウンなどに使用できます。　ＭＡＹＡは、デジタルアウトを出力しながらアナログからモニタリングもできます。　尚、EGO SYSの **”Dr.D”** (Universal Digital Converter)を用いることにより、コアキシャルやAES/EBUへ変換や分配できます。

- **CD Audio Input**

コンピューターに搭載されているCD-ROMドライブのアナログアウトよりMAYAのヘッダーコネクターへ入力し、CDからの音楽を良いクオリティーで楽しめます。コントロールパネルのCD-ROMを選択します。

第６章　ＭＡＹＡ コントロールパネル

正しく ＭＡＹＡ のハードウェアが取り付けられ、ソフトウェアドライバのインストールがされていれば、デスクトップシステムメニューバーに"Ｍ"アイコンを表示します。 クリックしてポップアップスクリーンを開くと下のような画面が表示されます。

入出力レベル

- **Level Faders**

ここで ＭＡＹＡ の入出力の調整をします。
フェーダーにポンターを近づけると十字アイコンに変わりドラッグできます。　ホイール付きのマウスならばホイールを使用できます。
その下の数値は、dB(デシベル)で表示しています。

- **Gang Mode**

各フェーダーの左右をリンクさせます。

インプットセレクター

- **Input Monitor**

このアイコンを選択することによりインプットセレクターで選択した入力をモニタリングできます。　選択していない場合は、モニタリングはできませんが、選択された信号は入力され、録音できます。

- **Line**

ＭＡＹＡ のアナログインプットを選択します。

- **Mic**

ＭＡＹＡ のマイクインプットを選択します。
マイクプリアンプセクションで、使用するマイクの用途に合わせて使用します。

- **CD-ROM**

４ピンヘッダーコネクターからの入力信号を選択します。CD-ROM からのアナログアウトを接続したある場合のみ使用できます。

マイクプリアンプ

- **+20dB**

このアイコンを選択することにより、マイク入力を 20dB 持ち上げ、入力レベルを他の機器に合わすことができます。

- **Phantom Power**

コンデンサーマイクを使用する際にここを選択します。　ファントム電源の規格レンジは 9V～52V までとなっており、ＭAYA は 12V を供給します。

右クリック

コントロールパネル上で右クリックをするとメニューが現れ、以下の選択ができます。

- **Close Panel**

  ＭAYA コントロールパネルを閉じます。

- **Always on Top**

  ＭAYA のコントロールパネルを、Windows のデスクトップの一番上にセットします。

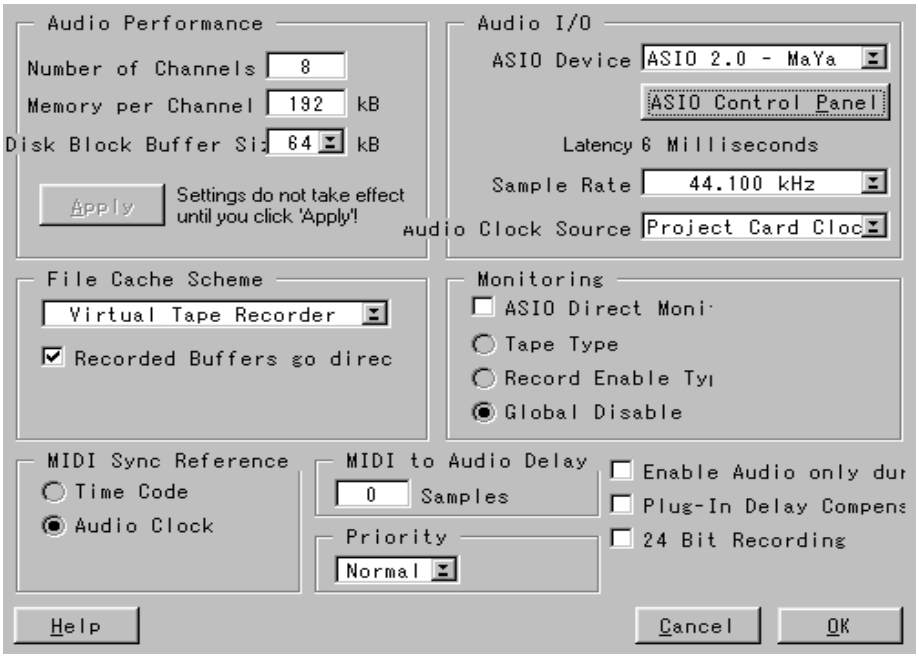
第 7 章 ソフトウェアとの使用

ＭAYA が対応しているデジタルオーディオソフトウェアにおいては、" **ＭAYA**"というメッセージが現れ、ソフトウェアは ＭAYA を認識できます。 ここではそれぞれのアプリケーションに合わせたクイックセットアップを紹介していきます。ご使用になるソフトウェアの説明書も用意し、合わせて御確認ください。

CUBASE VST / CUBASIS　(ASIO 2.0 Driver)

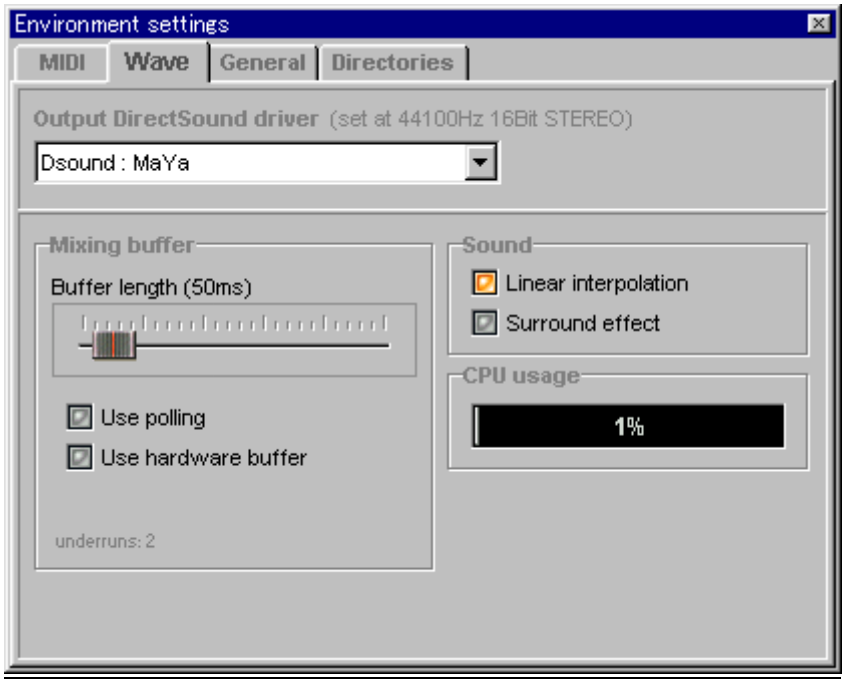
ＭAYA の取り付けが終わり、ドライバーも正しくインストールができましたら Cubase を起動します。 そして Cubase のメインバーから Audio/System を開きます。ASIO Device を確認して下さい。 そこには"ASIO 2.0- ＭAYA " というダイアログが現れているはずです。Buffer size を起動する必要もありません。
使用しているコンピューターの環境やスペックにおいて、ASIO コントロールパネルの

Latency を調節しなければいけない場合もあります。 実際に使用しながら、少しずつ合わせてください。



ACID ,SOUND FORGE etc　(MME Driver)

FRUITY LOOPS　(Direct Sound Driver)



御注意！

アプリケーションの詰め込みすぎは避けましょう。　また、半年に一度はシステムの整頓をしましょう。　重要なファイルはバックアップをとり、ハードディスクのフォーマットをかけるとコンピューターの使用感は数倍良くなります。

第８章　レジストレーション＆テクニカルサポート

レジストレーション（商品登録）

御購入後、必要事項を含めて以下の方法で登録を行ってください。

1. FAX:　(03) 5287-6678
2. E-mail: maru@egosys.net
3. Web Site: http://www.egosys.net

必要事項

御名前、ヨミガナ、住所、電話番号、FAX番号、E-mail アドレス, 商品名、商品購入日, 商品講入店、シリアルNo, 使用上の環境（コンピューターのスペックや、ソフトウェア、音楽機材等), 質問事項, その他.

*尚、1ヶ月を過ぎますと、サポートを受けられなくなる可能性がありますのでお早めにご登録お願い致します。

テクニカルサポート

初期不良を除くユーザーレジストレーションを既に済ましている方を対象とさせて頂きます。正当な使用上、万が一故障した場合は、1年間無料で修理いたします。尚、1年を過ぎても保証は引き続き受けさせていただきますが、有償となります。

以下の方法によって質問事項を送って下さい。

1. 御購入した商品に何か問題がある時は、まずはホームページ上のFAQを確認して下さい。

   http://www.egosys.net

2. Fax にて必要事項を添えて、送って下さい。

   FAX: (03) 5287-6678

3. E-mailで必要事項を添えて、送って下さい。

   maru@egosys.net

*2と3はどちらでもかまいません。

第 9 章　Audiotrak MAYA の主な仕様

Specifications

1. Input LEVEL : -10dBV Unbalanced, -10dBV Nominal, +9.0dBV Max
2. Output LEVEL : -10dBV Unbalanced, -10dBV Nominal, +9.0dBV Max
3. Input Impedance : 12K ohm
4. Output Impedance : 100 ohm
5. Input Gain : Analog 0dB ~ 12dB, 1.5dB Step Size
6. Output Attenuation : Analog 0dB ~ -48dB, 1.5dB Step Size
7. Sample Rate : 32KHz,44.1KHz,48KHz
8. A/D Spec
   1) Resolution : 18 bits
   2) Dynamic Range : 90 dB A-Weighted
   3) THD+N : -84 dB Fs
9. D/A Spec
   1) Resolution : 20 Bits
   2) Dynamic Range : 90 dB A-Weighted
   3) THD+N : -87 dB Fs
10. Digital Out Spec
   1) Type : RCA connector
   2) Format : IEC-958 Consumer, S/PDIF Optical
   3) Sample Rate : 32KHz,44.1KHz,48KHz
   4) Resolution : 20 Bits
11. Mic Pre Amp Spec
   1) Mic Input Gain : 45dB Fix and 20dB on/off and 0 ~ 12dB Variable
   2) Phantom Power :+12VphantomPower

㈱Ego Sys Japan
〒160-0021　東京都新宿区歌舞伎町2-41-8　新田中ビル4-B
FAX: (03) 5287-6678
E-mail: maru@egosys.net
http://egosys.net